



2015年6月30日午前6時ニュージーランド標準時（グリニッジ標準時は+12時間）まで発表禁止

看護師と保健職員が環太平洋経済連携協定（TPP）を非難する

PSI, ジュネーブ、6月30日 — 太平洋からラテンアメリカと北米に至る地域の看護師と助産師および保健職員は、今論議を呼んでいる TPP 貿易協定を強く非難する。

通商大臣と政府首脳に宛てた公開書簡 [open letter to trade ministers and government leaders](#) のなかで、TPP はヘルスケアにとって大きな脅威になるので黙って見過ごすことはできないと、17 看護師団体が言う。

「普遍的ヘルスケアの原則は手頃な料金のヘルスケアを公平に利用できることを基盤にしている」と、ローザ・パヴァネリ国際公務労連（PSI）書記長は語る。「TPP はそうした原則を損なうものです。看護師や助産師、保健労働者は、保健システムの中で人間よりも利潤を優先させた場合に何が起こるかがわかっているのです。」

「世界中の政府が保健医療費の増加についてコメントしている時代に、通商大臣たちは多国籍企業の利ざやの拡大にしかならない保健医療費の高騰をもたらす協定を交渉しているのです。」

TPP は、ジェネリック薬品の利用を遅らせることで医療費を高騰させ、製薬会社に対して政府の政策決定機関へのこれまで例を見ないようなアクセスを与えることになると書簡は述べている。投資家対国家の紛争解決（ISDS）のプロセスは、政府に人命を救う政策の急転換をさせないようにする。

書簡はまた、政府がヘルスケア提供者を規制する能力に制限を加える、人々が何を食しているかわかる適切な食品表示に関する制限、民間のヘルスケア多国籍会社が保健医療政策により大きな影響力を及ぼすことを可能にする道を開くなどのさまざまな有害な影響に対する懸念を提起する。

「米国のファストトラック法に関する議論が米国と世界中の大きな怒りを浮き彫りにしている中で、ヘルスケア労働者は、人々の健康が利潤とより広範な地政学的策略によって脇へ押しやられていことを深刻に憂慮しています」とパヴァネリは語った。

「この秘密裏の交渉が真の影響を隠しているのです。だからこそ私たちは交渉中止を要求し、協定の文言を公表して、然るべき保健学者が公に影響評価を行えるようにすることを要求しています。ヘルスケアの決定は、民主的機構の中で隠し立てをしないで公表されるものであり、小麦の出荷のように取引されるものではないのです。」

オーストラリアをベースにする研究報告で、TPP の影響について多数の懸念すべき事柄 [multiple concerns about the impact of the TPP](#) が見つかっている。これは漏洩によって知り得た TPP に関する知識に基づいている。TPP は保健医療にとって何らのリスクもないとする通商大臣の言質は、根拠に基づくものでなければならず、盲目的な信頼に基づくものであってはならない。

終わり

メディア用連絡先: マイケル・ウエイツ Michael Whaites - Michael.whaites@world-psi.org - (+61) 414 550 386